山梨県 Yamanashi Prefecture

取材制限あり

Press Release

令和8年11月11日
山梨県森林環境部大気水質保全課
課長　野中　俊宏
電話　　055-223-1513（内線 6400）

報道関係者各位

山梨県環境影響評価等技術審議会の開催について

～ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価手続～
～山梨西部広域環境組合（中間報告書）・富士・東部広域環境事務組合（評価書）～

中間報告書※1及び評価書※2に対し、環境保全の見地からの知事意見を述べるにあたり、標記審議会を開催し、環境保全の措置などに関する技術的な審議を行います。

※1 事業者が、工事中に実施した環境保全対策や環境調査の結果等を取りまとめたもの
※2 調査の結果を踏まえ、事業の影響を予測・評価し、必要な環境保全措置等を取りまとめたもの（準備書）に、県民や知事などから送付された意見に配慮し、事業者が検討を加えたもの

【開催概要】

日　　時：令和8年11月18日（水）10：30～16：30（予定）（受付開始10：00～）
（議題1　10：30～12：00、議題2　13：45～16：30）

会　　場：恩賜林記念館2階大会議室（甲府市丸の内1－5－4）

議　題　1：山梨西部広域環境組合　ごみ処理施設整備事業　中間報告書について
・事　業　者：山梨西部広域環境組合
・事業内容：ごみ焼却施設（山梨県西部の一般廃棄物を焼却）の整備
・設置場所：中央市浅利地内

議　題　2：富士・東部広域環境事務組合一般廃棄物処理施設整備事業　評価書について
※第1回審議会での質問等に対する回答、知事意見（素案）に対する審議
・事　業　者：富士・東部広域環境事務組合
・事業内容：ごみ焼却施設（富士・東部地域の一般廃棄物を焼却）の整備
・設置場所：南都留郡西桂町小沼米倉地区及び富士吉田市上暮地五名米倉地区

委　　員：専門家15名（別紙のとおり）

傍　　聴：定員10名（受付は先着順に行い、定員になり次第終了します）

そ の 他：審議はウェブと対面のハイブリッド方式で開催します。
審議会終了後、大気水質保全課長が報道対応を行います。

【審議会の公開について】

本審議会は原則公開で行いますが、希少な動植物の保護の観点から、希少動植物に関する事項に係る審議内容は非公開とします。

＜参考＞環境影響評価手続の全体の流れ

①方法書　⇒　②準備書　⇒　③評価書（議題2）　⇒
工事着手　⇒　④中間報告書（議題1）　⇒　工事完了　⇒　⑤完了報告書

山梨県環境影響評価等技術審議会委員名簿

（任期 令和6年12月15日～令和8年12月14日）

委員数：15人

（氏名）	（専門分野）	（役職名）
○　石井　信行	景観　景観工学	山梨大学非常勤講師
伊東　英幸	環境影響評価制度 交通量予測　環境計画 生態系評価	日本大学教授（理工学部交通システム工学科）
岩田　智也	水質汚濁　生態系 生物多様性	山梨大学教授（大学院総合研究部生命環境学域環境科学系）
北原　正彦	昆虫類	（一社）日本環境動物昆虫学会理事・評議員
後藤　聡	地盤　地形・地質	山梨大学非常勤講師
小林　富一郎	植物	元山梨県植物研究会会長
小林　拓	大気科学　環境測定	山梨大学准教授（大学院総合研究部生命環境学域環境科学系）
◎　坂本　康	水質汚濁　衛生工学 水象	山梨大学名誉教授
佐藤　文男	動物　鳥類	（公財）山階鳥類研究所フェロー
杉山　憲子	土壌汚染　地下水汚濁	東京海上ディーアール（株）不動産リスクソリューション本部マネージャー
芹澤　如比古	植物　藻類　水草 水質環境	山梨大学教授（大学院総合研究部教育学域人間科学系）
高木　直樹	建築音響　環境騒音	信州大学名誉教授
田中　章	生態系 環境影響評価制度 ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ ﾐﾃｨｹﾞｰｼｮﾝ 緑化	東京大学非常勤講師
箕浦　一哉	環境社会学　騒音 ｻｳﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ論　景観	山梨県立大学教授（国際政策学部総合政策学科）
湯本　光子	動物　両生・は虫類	山梨淡水生物調査会会長

◎会長　○会長代理　　（五十音順）